

桔梗野小だより

八戸市立桔梗野小学校 学校通信 第7号
平成29年11月29日(水)発行
電話 0178(28)3905
文責 校長 谷川龍三

「一生もの」を身に付ける！

昨年11月、子供たちは気温が低くなるとグラウンドや花壇にできた霜柱を手にとって、自然の美しさと思議さを肌で感じていました。ところが、今年は霜柱を楽しむ前にグラウンドをうっすらと雪が覆い、一か月も早い冬の寒さに戸惑っている子供たち…と思いましたが、路面に張った氷でワイワイと楽しんでいます。寒さに負けず遊んでいる子供たちを見ると、こちらも元気になります。



*

「八百万」という漢字。「やおろず」と読んで、たくさんという意味です。「八百万の神々」をはっぴゃくまんの神々と読んでいた人。この人にとっては、神様が八百万人いると勘違いしているのかもしれませんが。

ある政治家が「未曾有」という漢字を「みぞゆう」と読んで、マスコミに叩かれていたこともありました。ご存じある方もおられることでしょう。

とある中学校の生徒会総会。司会の役員が「つきまいの目標について協議します。」とマイクで話しました。だれも反応しないので二度三度「つきまいの目標」と話すのですが、ピンと来ていない様子。そうです。「月毎」を「つきまい」と読んだのです。「つきごと」だったのに…。

*

漢字は一生ものです。自転車に一度乗れるようになれば、時がたっても乗れます。これと同じで、小学校、中学校でしっかりと覚えた漢字は一生使えます。(すぐ出てこないこともあります)計算だってそうです。筆順や書写もです。

一年生は、平仮名・片仮名の書き方。手本のとおり書くと一生ものになります。8+3、12-5の足し算引き算も、瞬時にできるようになると、一生ものになります。2年生が一生懸命に唱えている九九、どこからでも瞬時に言えるようになると一生ものになります。一生ものにならないと、一生大変なことになります。だからこそ、筆順や書写も含めて小学校で覚えるべき漢字を徹底して小学校で覚えると、素敵な一生ものになります。

一生ものにするには、学校での勉強も大切ですが、家庭での練習も大変重要になってきます。冬休みにお子さんに一生ものをプレゼントするために、クイズにしたり、一緒に唱えたり…親と一緒に楽しく繰り返し繰り返し練習させ、一生ものにしてあげてください。

*



谷川が高校生の時、病院での出来事です。待合室で待っていると、看護婦さんが「やがわたつみさ〜ん」と呼んでいます。数回呼んでいましたが、どうも自分の方を見ているのです。???とって聞いていたのですが、誰のことかやっと分かりました。恥ずかしがり屋だった谷川は、何も言わずに診察室に入って行った記憶があります。

それにしても「やがわたつみ」とは…。人生で一回だけです。

学校行事

12月

1月

- 12/4日（月）ベルマーク委員会
- 5日（火）学校公開日・参観日
学納金口座振替日、人権教室（2年）、
食育授業（1・3・4年）
- 7日（木）委員会活動
- 8日（金）清掃班長会議
- 11日（月）清掃週間
- 12日（火）スクールカウンセラー来校日
- 14日（木）パワー励み学習①
- 21日（木）6時間授業
- 22日（金）冬休み前集会・5時間授業 14:40 下校
- 23日（土）天皇誕生日 冬季休業～1/14

- 1/5日（金）学納金口座振替日
- 14日（日）地区新春もちつき大会・書き初め会
- 15日（月）冬休み明け集会・5時間授業
- 16日（火）漢字・計算コンテスト
- 18日（木）パワー励み学習②
- 25日（木）学力検査、パワー励み学習③
- 26日（金）学力検査
- 30日（火）スクールカウンセラー来校日



今年も素晴らしかった！お話し会

11月13日（月）に、毎年恒例の図書ボランティアによる「お話し会」が行われました。今年は「八戸」をテーマに、八戸にまつわるトークや方言クイズ、お話「ウーとスー」「くじらの八戸太郎」などで楽しませてくれました。また、ききょうホールの後ろには「八戸紹介コーナー」を用意し、子供たちの好奇心を掘り起こしていました。これだけの質の高い「お話し会」を成功させた、企画力・表現力に敬服します。

素晴らしい表現に触れ、子供たちは最後まで集中してお話し会に参加していました。この日のために準備し、練習して下さった図書ボランティアの方々に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

◆ウーとスーがおもしろかったです。ねこになげられるところが、おもしろかったです。さいごのくじらがきれいでした。すごく、きれいでした（1年 やまもとるきあ）

◆八戸について書かれてある本などを読んでいただいて、とってもためになりました。特に「八戸太郎」のお話で、わたしは初めてくじら岩のことを知りました。方言も勉強になりました。（4年 尾崎せり）

◆一番心に残っているのは「八戸太郎」です。全て手作りとは思えないほど、すてきな道具を使っていたり、ライトの色や音楽なども工夫していて、すごいと思いました。（6年 山端優奈）



PTA広報誌は八戸の自慢です！



【日本教育新聞社 社長賞】



【県PTA広報誌コンクール 推奨】

音楽発表会のお知らせしましたが、PTA広報誌が2つの賞をいただきました。受賞したのは、[水目沢vol.144 Dec2016（平成28年12月号）](#)。

右が青森県PTA連合会主催第48回PTAコンクールで受賞した【推奨】の賞状です。11月に青森市で行われた授賞式には、3名の方が出席して賞状を頂いてきました。

左は、第39回全国小・中学校PTA広報誌コンクール小学校の部で受賞した【日本教育新聞社 社長賞】です。ホテルニューオータニで行われた表彰式には、こちらも本PTAから3名の方が出席しました。

記念に購入した「優秀広報誌 作品集」を見てみると、上から3番目の賞でした。審査総評には、次のように書かれています。

PTA組織再編も含めて、特集や一般記事からもPTA活動に対する真摯さが伝わってきます。地域の資源にスポットを当てたシリーズなども、地域全体で子育て気運に貢献しています。

広報誌が全国に認められたこと、本当にうれしく思います。授賞の様子は、「水目沢」の大きな記事となり、会員の皆さんに紹介されると思います。楽しみですね！

凜としていました！

11月15日（水）に日本舞踊クラブの校内発表会が行われました。これまでも、桔梗野夏祭りや敬老会でクラブ活動で取り組んできた成果を発表していましたが、この日は全校のみんなの前で踊りを披露しました。

発表後の感想を紹介します。

1年生～とってもきれいだなと思いました。

2年生～曲で歌っているのは日本語でないようでした。

踊りはとても上手でした。

6年生～いつも見ている友達と雰囲気違って、凛としていてとても素敵でした。

優雅に舞う7人に、会場みんなが感動した時間でした。

日本舞踊の先生が、感想発表に意欲的なことを褒めてくださったことも、嬉しかったです。



スーパースターが いっぱい！



時々そうじの時間にカメラをもって学校中を回ります。そうじのスーパースターを探すためです。

どんな子がスーパースターかと言えば、

①始まりの時刻に遅れない子、②掃除中に無駄なおしゃべりをしない子、③時間いっぱい頑張る子、④元気にあいさつする子です。こんな子を求めて、カメラ片手に見て歩き、スーパースターを見つけてはカメラに収めています。



11月27日の月曜日。この日もそうじが始まる前から子供たちに声をかけながら校内を見て歩いていましたが、そうじが始まると学校中に余計なおしゃべりがなく、作業をしている音だけが響いていました。

自分たちが使うところは、自分たちできれいにします。旧校舎は、古くてもきれいな校舎。すすんではたらくことが大好きな桔梗っこを目指しています！



クマの対応に振り回された11月だったように思います。放課後の活動を無くして一斉下校にしたり、教職員がいくつかの箇所について見守りをしたり、自衛隊方向へ下校する子供たちを対象に集団下校をしたりして安全対策を講じました。

注意喚起のメールや文書の配付もしましたが、今回の事案で一番考えさせられたのは、登下校する子供たちの安全を今以上にどう確保していくかということです。

教職員の数には限りがあります。保護者や地域の方々も仕事を抱えています。急に協力をお願いしても難しいのが現状です。

今回のことから、「引き渡し」ではないが普段よりも安全体制を強化した登下校体制を築くにはどうしたらよいかを、PTAの方々や地域連携協議会の方々のご意見も聞きながら考えていきたいと思います。